

盛岡冬季五輪への期待 燃えてカーニバル

燃え続けて

聖火台に点火する盛岡走友会の斉藤国和さん。
熱意の炎、燃やし続けたい



盛岡市が招致を目指す1998年冬季オリンピック。招致運動が県都盛岡を中心に盛り上がっている。

厳寒の2月21日、盛岡青年会議所、冬季オリンピック招致岩手青年の会など招致支援団体が一致団結して、1998年冬季オリンピック招致推進大会「呼ぼうオリンピック 燃えよう/カーニバル」を開いた。

主会場の岩手公園広場には約5,000人の市民が集まり、盛岡五輪への夢を膨らませた。

盛岡をはじめ長野、旭川、山形の各市が各乗りをあげている1998年冬季オリンピック招致。盛岡オリンピックの開催まで県民挙げて運動の輪を広げたい。



熱きおもい

約5,000人の市民が集まり熱意の輪を広げた
(盛岡市岩手公園)

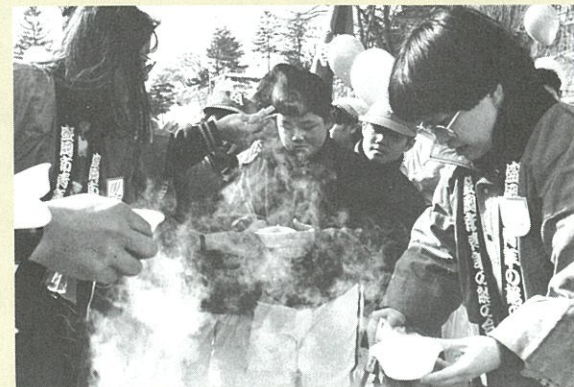
高まる響き

威勢のいい「雫石よしゃれ大鼓」に高まる鼓動
(雫石青年団協議会)



君たち出番

肉汁をサービスする盛岡市青年の船の会員たち。
次の出番は君たちよ



力強く「エイ！」

子どもたちが参加してのもちつき大会



今、見つめて

目指す冬季オリンピックまであと10年。
しっかり未来を見つめよう



根気よく！

1998年を目標し雪だるまコンテスト

